

令和6年度

西渋川たち小規模保育園 自己評価

評価・・・次の基準によって評価欄に○・△・×と記入する	
○	おおむね達成できている
△	具体的に実施しているが成果が出てきていない
×	具体的に実施していない為、成果も出ていない

1.保育の理念・保育観

項目		評価
1	保育士一人一人が、保育理念に基づき、日々の保育に取り組んでいます。	○
2	すべての子どもについて、一人一人の存在とその人権を尊重しています。	○
3	児童福祉法の理念に基づいて子どもの生活と健全な発達を保障することが、保育園の重要な使命であると理解しています。	○
4	入園している子どもの保育だけでなく、広く地域の子育てを支援する社会的役割があることを意識し、目指しています。	△
5	一人一人のありのままの姿を受け止め、健やかに成長することを願って保育をしています。	○
6	保育園の保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大きな役割を担っていると認識しています。	○
7	保育者と連携を密にとり、その意向を受け止め、保育士間の専門性を生かしてその援助にあたっていきます。	○

2.保育計画・指導計画

項目		
1	保育指針やねらい及び内容が達成できるような保育課程や保育計画になっています。	○
2	保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の様や興味の対象の実態を把握して、年・月・週・日案などを作成しています。	○
3	子どもの意欲を誘い、発達に必要な経験が得られるような環境構成が十分工夫されています。	△
4	職員間で子ども一人一人の発達過程や状況を十分に理解したうえで、保育しています。	○
5	年・月・週・日案などが実際の子ども姿・興味・関心に合っていたかという点から、自分の保育を評価・反省しています。	○
6	食について保育士と給食従事者が意見交換の場を持ち、連携して食育活動をしています。	△
7	献立に旬の食材を取り入れ、ほぼ100%を手作りしています。	○

3.保育園の職員構成・役割分担・研修

項目		
1	園長や主任の園務分掌がはっきりとしていて、それぞれの仕事を、責任をもって行っています。	○
2	豊かな集団の育成を目指したクラス運営がすすめられ、各クラスの連携が円滑に行われています。	○
3	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる態勢が整えられています。	○
4	園内外の研修は、計画的に実施されています。	○
5	保育に関わる様々な知識や技能の向上に努め、悩みや疑問を解決するため、研修に参加したり専門書を読むなどして自己研鑽しています。	○

4.事務管理・運用

項目		
1	子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理しています。	○
2	職員に対し、園内で知りえた事柄に対しての守秘義務を周知徹底しています。	○
3	帳簿類は適切に記載し、整理保管しています。	○
4	施設設備・遊具等の安全点検をしています。	○
5	園運営が円滑に行われるように、適切に予算を執行しています。	○

5.開かれた保育園

項目		
1	世代間交流・育児講座を通して情報の発信をし、地域社会に開かれたものになっています。	×
2	子どもの心身の発達や育児不安等について、気軽に相談できるように個別懇談等を行っています。	○
3	園生活の子どもの様子を保護者や地域社会に積極的に伝えています。	○

6.評価・反省 各項目に対して

【1-4 5-1】 地域に対してのアプローチはまだ弱いように感じる。施設内のキャパが限られている以上、こちらから出向く必要があるが機会や必要性を考えると課題が残る。
【2-3】 自由に行き来したり子どもの興味を引く環境づくりは今後再検討したい課題のひとつと考える。生活の導線を優先するあまり遊びの自由度は制限してしまっている現状である。
【2-6】 食育活動における主導権の持ち方が曖昧になってしまっていた。再構築し次年度は計画段階から密に作り込めるような仕組みにしていく。